

「心豊かに、生きる力を育む教育の研究」 －国語力を基盤とした、心をたがやす道德と 基礎・基本の定着を図りながら－

I 主題設定の理由

本校では平成16・17年度の2年間、山梨県教育委員会より指定を受け「心をたがやす国語力向上推進事業」拠点校として国語力の向上に関する研究を推進し、成果を収めてきた。国語力は教育活動全般にわたる基盤となるものである。したがって、可能な範囲の中で、日常の取り組みとして国語力向上のための取り組みを継続していくことは大切なことと考える。

さらに、今年度は昨年度あげられた課題でもある「心をたがやし、より豊かな心をもつ生徒の育成」に向け、道德の充実を研究の大きな柱としていきたい。特に今年度は県の指定により「心に元気をはぐくむ道德教育推進事業」推進校となっている。これを地域・保護者への啓発の機会ととらえ、道德教育の推進を図っていきたいと考える。

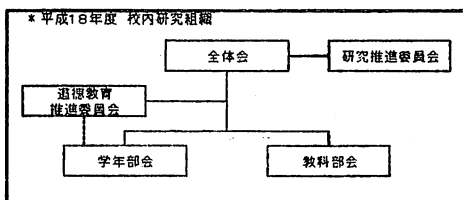
また、やはり昨年度の課題であげられた「基礎・基本の定着・向上」に向けた研究と「評価についての研究」もあわせて行っていく必要がある。また、英語、数学における「少人数コース制」等の授業については、その効果ならびに課題についての検証を行っていきたい。

以上、今年度の研究は「国語力向上のための取り組みの継続」「道德の充実」「基礎・基本の定着」の3つを柱として進めていくこととした。

II 研究の具体的内容と方法

1 研究組織

学年部会では国語力向上の取り組みの継続と道德推進委員会の計画にもとづき、道德教育の実践を行う。また、教科部会においては基礎・基本の定着のための具体的な実践を行う。



2 研究内容与方法

(1) 国語力向上の取り組みについて

- ・昨年度からの日常的な取り組みを継続する。全体で共通して短学活でのスピーチや生活ノートへの記入と点検活動に取り組む。

(2) 道德教育の推進について

- ・道德教育推進委員会の計画のもと、各学年で実践を進めていく。
- ・1学期中に全体で授業研を1度行い、指導主事を招聘し、道德の授業についての学習会を行う。
- ・「心に元気をはぐくむ道德教育推進事業」との関連で、10月～11月に地域に道德の授業を公開する。
- ・次年度以降への継続研究も視野に入れ、全体計画、指導計画の見直しを道德推進委員会を中心に行う。

- (3) 基礎・基本の定着のための取り組み
- ・各教科ごとに研究を進める。
 - ・英語科、数学科では「少人数コース制」について、有効性の検証と課題の洗い出しを視野に入れて取り組みを進める。

III 成果と課題

1 成果

(1) 国語力向上の取り組み

昨年度の成果を受け、今年度も各学年・学級において「スピーチ」「生活ノート」の取り組みを継続することができた。また、「ことばの掲示板」が定期的に更新され、生徒達への言葉に対する意識の高揚に大きな役割を果たした。

(2) 道徳教育の推進

1学期に県義務教育課指導主事蘓原桂先生を招き、道徳の授業研究会をもつことができた。研究会においては先生より「道徳の時間」のもちかたについての基本的なお話をいただき、また提供していただいた資料により、道徳の授業についての理解を深め合うことができた。

10月26日には日常の取り組みの成果を公開発表会という形で下記のような内容で行った。

学級	主題・資料	項目	授業者	講師
1年1組	語りかける目	◎生命尊重 ○家族愛	三枝ゆかり	
1年2組	飯田聡代子先生から学ぶ	◎向上心 ○強い意志	田辺 秀樹	バイオリニスト 飯田聡代子先生
1年3組	アテネへの軌跡	◎向上心 ○強い意志	鶴田 健司	アテネ文化財司 今村俊雄先生
1年4組	命のつながり-自分の番	◎生命尊重 ○思いやり	長坂 俊彦	
2年1組	将君のホームズ/生きてます15歳	◎家族愛	平山 直樹	
2年2組	仲間の良い発見/私と小鳥と鈴と	◎友情・信頼	山崎えみ香	
2年3組	5年で1番に!(講師講話)	◎理想の実現	佐野 厚子	南園芸社長 南 芳先 先生
2年4組	雄大な自然の力(講師講話)	◎自然愛護・畏敬の念	飯嶋 武志	大和中学校カカクンペー 古田豊彦先生
3年1組	かけがえない命	◎家族愛	丹澤 一浩	
3年2組	みんなかけがえない一人	◎人間愛 ○生命の尊重	戸島 直樹	
3年3組	三度の別れ(かけがえない君だから)	◎真実愛・理想の実現	上野 基広	
3年4組	故郷を愛する心(講師講話)	◎郷土愛 ○強い意志	筒井 修子	山梨むかしがたりの会 藤巻愛子先生
全体会	「命の大切さ・夢の実現」(コンサート(弾き語り)形式の講話)		大野嶺之氏(シンガーソングライター)	

多くの保護者、地域の方々、教員等の参加をいただいた。事後の参観者からのアンケート・感想を見ると、好意的な評価が多くあげられていた。

(3) 基礎・基本の定着に向けて

特に英語・数学科では1,2年生でのTTによる少人数学習、3年生での希望制によるコース別少人数学習を取り入れて1年間取り組み、基礎・基本の定着に向けて努力することができた。

2 課題

今年度は3つの柱を立て研究に取り組んだが、主となったのは道徳であった。その点では成果があったと言えるが、反面、国語力向上の取り組みや基礎・基本の定着に関する研究・取り組みが不十分であった。この点の改善に向け、来年度は研究を続けていきたい。

(研究主任 長坂俊彦)